

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岡山理科大学専門学校
設置者名	学校法人 加計学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	建築学科	夜・通信	98 単位	6 単位	
	建築学科	夜・通信	81 単位	4 単位	
	建築学科専攻科	夜・通信	36 単位	3 単位	
文化・教養専門課程	動物看護学科 看護医療コース (2年制)	夜・通信	119 単位	6 単位	
	動物看護学科 高度看護医療・臨床検査コース (3年制)	夜・通信	178 単位	9 単位	
	トリミング学科	夜・通信	73 単位	6 単位	
	ドッグトレーニング学科	夜・通信	71 単位	6 単位	
	アクアリウム学科	夜・通信	86 単位	6 単位	
	動物系総合学科 研究科	夜・通信	68 単位	3 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校の冊子にて閲覧可能となっており、開示請求があれば随時閲覧することが可能となっている。
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岡山理科大学専門学校
設置者名	学校法人 加計学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園ホームページにて公表している。 (http://www.kake.ac.jp/information/officer.html)
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社取締役会長	2018/4/1 ~ 2022/3/31	学園の広報活動を 主として法人運営 全般に対する指 導・助言
非常勤	株式会社代表取締役	2016/5/30 ~ 2020/5/29	学園の地域連携を 主として法人運営 全般に対する指 導・助言
非常勤	株式会社代表取締役	2018/4/1 ~ 2022/3/31	学園の財政改革を 主として法人運営 全般に対する指 導・助言
非常勤	株式会社代表取締役会長	2018/7/1 ~ 2022/6/30	学園の産学連携を 主として法人運営 全般に対する指 導・助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岡山理科大学専門学校
設置者名	学校法人 加計学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>																
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業科目ごとに、「教育目標」「テキスト」「参考書」「関係する科目」「試験方法」「成績の評価方法」「選択・必修の別」「単位数」「担当教員」「授業内容とスケジュール」について掲載したカリキュラムブックを作成し全学生に公表、配布している。またその中で、卒業までの履修一覧表とともに、科目相互の関連を図示した「カリキュラムフロー」を適宜掲載することで、体系的な学習ができるようにしている。</p> <p>カリキュラムブック(シラバス)の作成については11月に各授業担当教員へのシラバスの原稿作成依頼を行い、翌年1月に原稿を取り纏めと校正を行う。</p> <p>校正後は3月中に刊行し、4月に公表・配布する。</p>																
授業計画書の公表方法	本校の冊子にて閲覧可能となっており、開示請求があれば随時閲覧することが可能となっている。															
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>																
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。</p> <p>1) 学習の評価による認定</p> <p>評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>評点</th> <th>評価</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点～80点</td> <td>優</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>79点～70点</td> <td>良</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>69点～60点</td> <td>可</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>59点～0点</td> <td>不可</td> <td>単位不認定</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 出席時数による認定の基準</p> <p>出席時数の認定は、規定授業時数の3分に1以下までの欠時とする。</p>		評点	評価	判定	100点～80点	優	単位認定	79点～70点	良	単位認定	69点～60点	可	単位認定	59点～0点	不可	単位不認定
評点	評価	判定														
100点～80点	優	単位認定														
79点～70点	良	単位認定														
69点～60点	可	単位認定														
59点～0点	不可	単位不認定														

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本校では、GPA等の指標は用いていないが、成績の分布については、クラスごとに成績の順位を示し、自らの成績の分布状況が把握できるようにしている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本校の冊子にて閲覧可能となっており、開示請求があれば随時閲覧することが可能となっている。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。 卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。 これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。 また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>本校の冊子にて閲覧可能となっており、開示請求があれば随時閲覧することが可能となっている。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岡山理科大学専門学校
設置者名	学校法人 加計学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学園ホームページにて公表している。 (http://www.kake.ac.jp/information/finance.html)
収支計算書又は損益計算書	学園ホームページにて公表している。 (http://www.kake.ac.jp/information/finance.html)
財産目録	学園ホームページにて公表している。 (http://www.kake.ac.jp/information/finance.html)
事業報告書	学園ホームページにて公表している。 (http://www.kake.ac.jp/information/project.html)
監事による監査報告（書）	学園ホームページにて公表している。 (http://www.kake.ac.jp/information/finance.html)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	建築学科：単位制	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	105 単位時間／単位	68 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	40 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			108 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		101人	4人	2人	18人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業科目ごとに、「教育目標」「テキスト」「参考書」「関係する科目」「試験方法」「成績の評価方法」「選択・必修の別」「単位数」「担当教員」「授業内容とスケジュール」について掲載したカリキュラムブックを作成し全学生に公表、配布している。またその中で、卒業までの履修一覧表とともに、科目相互の関連を図示した「カリキュラムフロー」を適宜掲載することで、体系的な学習ができるようにしている。
成績評価の基準・方法
（概要） 単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。 1) 学習の評価による認定 評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、

以下の通り行う。		
評点	評価	判定
100点～80点	優	単位認定
79点～70点	良	単位認定
69点～60点	可	単位認定
59点～0点	不可	単位不認定
2) 出席時数による認定の基準 出席時数の認定は、規定授業時数の3分に1以下までの欠時とする。		
卒業・進級の認定基準		
(概要) 卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。 卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。 これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。 また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。		
学修支援等		
(概要) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保護者へ連絡し出席を促す、注意喚起を行う等して学業に遅れがでないよう、または原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
34人 (100%)	10人 (29.4%)	21人 (61.8%)	3人 (8.8%)
(主な就職、業界等) 総合建設会社、住宅会社、住宅・リフォーム会社、リフォーム会社、プレカット加工会社、建築技術者人材派遣会社、自動車部品製造会社			
(就職指導内容) キャリア教育、職業理解、インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方			
(主な学修成果（資格・検定等）) 2級建築施工管理技術検定（学科合格）：3人、福祉住環境コーディネーター2級：1人、建築積算士補：7人			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
89人	4人	4.5%

(中途退学の主な理由) 進路変更、一身上の都合、意欲減退
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業面では、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートを行っている。 学生生活面では学生の個別相談に応じる等して適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	建築学科：単位制	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	81 単位時間／単位	66 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	16 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			82 単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	24人	0人	1人	8人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）															
(概要) 授業科目ごとに、「教育目標」「テキスト」「参考書」「関係する科目」「試験方法」「成績の評価方法」「選択・必修の別」「単位数」「担当教員」「授業内容とスケジュール」について掲載したカリキュラムブックを作成し全学生に公表、配布している。またその中で、卒業までの履修一覧表とともに、科目相互の関連を図示した「カリキュラムフロー」を適宜掲載することで、体系的な学習ができるようにしている。															
成績評価の基準・方法															
(概要) 単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。															
1) 学習の評価による認定 評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。															
<table border="0"> <tr> <td>評点</td> <td>評価</td> <td>判定</td> </tr> <tr> <td>100点～80点</td> <td>優</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>79点～70点</td> <td>良</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>69点～60点</td> <td>可</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>59点～0点</td> <td>不可</td> <td>単位不認定</td> </tr> </table>	評点	評価	判定	100点～80点	優	単位認定	79点～70点	良	単位認定	69点～60点	可	単位認定	59点～0点	不可	単位不認定
評点	評価	判定													
100点～80点	優	単位認定													
79点～70点	良	単位認定													
69点～60点	可	単位認定													
59点～0点	不可	単位不認定													
2) 出席時数による認定の基準 出席時数の認定は、規定授業時数の3分に1以下までの欠時とする。															
卒業・進級の認定基準															
(概要) 卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。 卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。 これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。 また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議におい															

て審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。
学修支援等
(概要) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保護者へ連絡し出席を促す、注意喚起を行う等して学業に遅れがでないよう、または原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	1人 (7.7%)	6人 (46.2%)	6人 (46.2%)
(主な就職、業界等) 建築設計事務所，総合建設会社，住宅会社，工務店，不動産会社			
(就職指導内容) 求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方			
(主な学修成果（資格・検定等）) 宅地建物取引士：2人，福祉住環境コーディネーター2級：2人，建築積算士補：10人			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	1人	3.8%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業面では、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートを行っている。 学生生活面では学生の個別相談に応じる等して適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	建築学科専攻科 ：単位制					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	36 単位時間／単位	16 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	20 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			36 単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	8人	0人	1人	0人	1人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）															
<p>（概要）</p> <p>授業科目ごとに、「教育目標」「テキスト」「参考書」「関係する科目」「試験方法」「成績の評価方法」「選択・必修の別」「単位数」「担当教員」「授業内容とスケジュール」について掲載したカリキュラムブックを作成し全学生に公表、配布している。またその中で、卒業までの履修一覧表とともに、科目相互の関連を図示した「カリキュラムフロー」を適宜掲載することで、体系的な学習ができるようにしている。</p>															
成績評価の基準・方法															
<p>（概要）</p> <p>単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。</p> <p>1) 学習の評価による認定</p> <p>評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。</p> <table border="1"> <tr> <td>評点</td> <td>評価</td> <td>判定</td> </tr> <tr> <td>100点～80点</td> <td>優</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>79点～70点</td> <td>良</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>69点～60点</td> <td>可</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>59点～0点</td> <td>不可</td> <td>単位不認定</td> </tr> </table> <p>2) 出席時数による認定の基準</p> <p>出席時数の認定は、規定授業時数の3分に1以下までの欠時とする。</p>	評点	評価	判定	100点～80点	優	単位認定	79点～70点	良	単位認定	69点～60点	可	単位認定	59点～0点	不可	単位不認定
評点	評価	判定													
100点～80点	優	単位認定													
79点～70点	良	単位認定													
69点～60点	可	単位認定													
59点～0点	不可	単位不認定													
卒業・進級の認定基準															
<p>（概要）</p> <p>卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。</p> <p>卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。</p> <p>これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。</p> <p>また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。</p>															
学修支援等															
<p>（概要）</p> <p>チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保護者へ連絡し出席を促す、注意喚起を行う等して学業に遅れがでないよう、または原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。</p>															

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	17人 (94.4%)	1人 (5.6%)
(主な就職、業界等) 建築設計事務所、総合建設会社、住宅会社、住宅リフォーム会社、内装工事会社、市役所			
(就職指導内容) インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方			
(主な学修成果（資格・検定等）) 二級建築士：5人、二級建築士学科合格：6人、2級建築施工管理技術検定（学科合格）：2人			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業面では、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートを行っている。 学生生活面では学生の個別相談に応じる等して適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物看護学科 看護医療コース (2年制)：単位制	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	125 単位時間/単位	96 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	29 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			125 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		37人	0人	2(2)人 3年制の内数	6(6)人 3年制の内数	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業科目ごとに、「教育目標」「テキスト」「参考書」「関係する科目」「試験方法」「成績の評価方法」「選択・必修の別」「単位数」「担当教員」「授業内容とスケジュール」について掲載したカリキュラムブックを作成し全学生に公表、配布している。またその中で、卒業までの履修一覧表とともに、科目相互の関連を図示した「カリキュラムフロー」を適宜掲載することで、体系的な学習ができるようにしている。

成績評価の基準・方法

（概要）

単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。

1) 学習の評価による認定

評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。

評点	評価	判定
100点～80点	優	単位認定
79点～70点	良	単位認定
69点～60点	可	単位認定
59点～0点	不可	単位不認定

2) 出席時数による認定の基準

出席時数の認定は、規定授業時数の3分に1以下までの欠時とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。

卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。

これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。

また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。

学修支援等

（概要）

チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保護者へ連絡し出席を促す、注意喚起を行う等して学業に遅れがでないよう、または原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	5人 (25.0%)	13人 (65.0%)	2人 (10.0%)

(主な就職、業界等)

動物病院, 人材派遣会社, 和菓子製造販売会社

(就職指導内容) インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方
(主な学修成果(資格・検定等)) 認定動物看護師：16人、愛玩動物飼養管理士1級：9人/2級：19人、サービス接遇検定2級：1人/3級：9人
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47人	3人	6.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、意欲減退、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業面では、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートを行っている。 学生生活面では学生の個別相談に応じる等して適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物看護学科 高度看護医療・臨床 検査コース (3年制)：単位制	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	179 単位時間/単位	146 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	42 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			188 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		24人	0人	2(2)人 2年制の内数	8(6)人 2年制の内数	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業科目ごとに、「教育目標」「テキスト」「参考書」「関係する科目」「試験方法」「成績の評価方法」「選択・必修の別」「単位数」「担当教員」「授業内容とスケジュール」について掲載したカリキュラムブックを作成し全学生に公表、配布している。またその中で、卒業までの履修一覧表とともに、科目相互の関連を図示した「カリキュラムフロー」を適宜掲載することで、体系的な学習ができるようにしている。
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <p>単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。</p> <p>1) 学習の評価による認定</p> <p>評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。</p> <table border="1"> <tr> <td>評点</td> <td>評価</td> <td>判定</td> </tr> <tr> <td>100点～80点</td> <td>優</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>79点～70点</td> <td>良</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>69点～60点</td> <td>可</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>59点～0点</td> <td>不可</td> <td>単位不認定</td> </tr> </table> <p>2) 出席時数による認定の基準</p> <p>出席時数の認定は、規定授業時数の3分に1以下までの欠時とする。</p>	評点	評価	判定	100点～80点	優	単位認定	79点～70点	良	単位認定	69点～60点	可	単位認定	59点～0点	不可	単位不認定
評点	評価	判定													
100点～80点	優	単位認定													
79点～70点	良	単位認定													
69点～60点	可	単位認定													
59点～0点	不可	単位不認定													
卒業・進級の認定基準															
<p>(概要)</p> <p>卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。</p> <p>卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。</p> <p>これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。</p> <p>また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。</p>															
学修支援等															
<p>(概要)</p> <p>チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保護者へ連絡し出席を促す、注意喚起を行う等して学業に遅れがでないよう、または原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。</p>															

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	1人 (10.0%)	8人 (80.0%)	1人 (10.0%)
(主な就職、業界等) 動物病院、酪農場、養鶏場、福祉施設、ホテル			
(就職指導内容) インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方			
(主な学修成果（資格・検定等）) 認定動物看護師：8人、愛玩動物飼養管理士1級：7人／2級：9人、サービス接遇検定準1級：2人／2級：8人／3級：5人、ペット栄養管理士：6人、2級認定牛削蹄士：1人、介護職員初任者研修：3人			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	1人	4.2%
(中途退学の主な理由) 病気		
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業面では、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートを行っている。 学生生活面では学生の個別相談に応じる等して適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	トリミング学科 ：単位制	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	81 単位時間/単位	34 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	52 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			86 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		37人	0人	1人	0人	1人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)		
(概要) 授業科目ごとに、「教育目標」「テキスト」「参考書」「関係する科目」「試験方法」「成績の評価方法」「選択・必修の別」「単位数」「担当教員」「授業内容とスケジュール」について掲載したカリキュラムブックを作成し全学生に公表、配布している。またその中で、卒業までの履修一覧表とともに、科目相互の関連を図示した「カリキュラムフロー」を適宜掲載することで、体系的な学習ができるようにしている。		
成績評価の基準・方法		
(概要) 単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。		
1) 学習の評価による認定 評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。		
評点	評価	判定
100点～80点	優	単位認定
79点～70点	良	単位認定
69点～60点	可	単位認定
59点～0点	不可	単位不認定
2) 出席時数による認定の基準 出席時数の認定は、規定授業時数の3分に1以下までの欠時とする。		
卒業・進級の認定基準		

<p>(概要)</p> <p>卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。</p> <p>卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。</p> <p>これらの基準は、本学学則第 27 条、および教務規定第 8 条に記載し公表している。</p> <p>また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保護者へ連絡し出席を促す、注意喚起を行う等して学業に遅れがでないよう、または原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。</p>

<p>卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>			
<p>卒業者数</p>	<p>進学者数</p>	<p>就職者数 (自営業を含む。)</p>	<p>その他</p>
<p>19 人 (100%)</p>	<p>0 人 (0.0%)</p>	<p>19 人 (100.0%)</p>	<p>0 人 (0.0%)</p>
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>ペットサロン、ペットショップ、動物病院、福祉施設、自動車販売会社</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>JKC 公認トリマーC 級：18 人、JKC 公認ハンドラーC 級：6 人、愛玩動物飼養管理士 1 級：8 人／2 級：7 人、サービス接遇検定 2 級：2 人／3 級：8 人</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

<p>中途退学の現状</p>		
<p>年度当初在学者数</p>	<p>年度の途中における退学者の数</p>	<p>中退率</p>
<p>47 人</p>	<p>5 人</p>	<p>10.6%</p>
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>一身上の都合、学業不振、進路変更</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業面では、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートを行っている。</p> <p>学生生活面では学生の個別相談に応じる等して適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ドッグトレーニング 学科：単位制	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	93 単位時間／単位	66 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	47 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			113 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		33人	0人	3人	4人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）															
<p>（概要）</p> <p>授業科目ごとに、「教育目標」「テキスト」「参考書」「関係する科目」「試験方法」「成績の評価方法」「選択・必修の別」「単位数」「担当教員」「授業内容とスケジュール」について掲載したカリキュラムブックを作成し全学生に公表、配布している。またその中で、卒業までの履修一覧表とともに、科目相互の関連を図示した「カリキュラムフロー」を適宜掲載することで、体系的な学習ができるようにしている。</p>															
成績評価の基準・方法															
<p>（概要）</p> <p>単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。</p> <p>1) 学習の評価による認定</p> <p>評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。</p> <table border="0"> <tr> <td>評点</td> <td>評価</td> <td>判定</td> </tr> <tr> <td>100点～80点</td> <td>優</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>79点～70点</td> <td>良</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>69点～60点</td> <td>可</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>59点～0点</td> <td>不可</td> <td>単位不認定</td> </tr> </table> <p>2) 出席時数による認定の基準</p> <p>出席時数の認定は、規定授業時数の3分に1以下までの欠時とする。</p>	評点	評価	判定	100点～80点	優	単位認定	79点～70点	良	単位認定	69点～60点	可	単位認定	59点～0点	不可	単位不認定
評点	評価	判定													
100点～80点	優	単位認定													
79点～70点	良	単位認定													
69点～60点	可	単位認定													
59点～0点	不可	単位不認定													
卒業・進級の認定基準															
<p>（概要）</p> <p>卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。</p> <p>卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。</p> <p>これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。</p> <p>また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。</p>															
学修支援等															

<p>(概要)</p> <p>チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保護者へ連絡し出席を促す、注意喚起を行う等して学業に遅れがでないよう、または原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	5人 (19.2%)	14人 (53.8%)	7人 (26.9%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>犬のしつけ教室、動物保護施設、ペットショップ、観光牧場、動物病院、養鶏場、鶏卵生産会社、農業協同組合、和菓子製造販売会社、自動車販売会社</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>JKC 公認ハンドラーC級：12人、愛玩動物飼養管理士1級：15人／2級：22人、サービス接遇検定2級：1人／3級：5人、介護職員初任者研修：4人</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	4人	8.9%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>一身上の都合、経済的な理由、進路変更</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業面では、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートを行っている。 学生生活面では学生の個別相談に応じる等して適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	アクアリウム学科： 単位制	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	92 単位時間/単位	62 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	34 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			96 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	59人	1人	1人	7人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）															
<p>（概要）</p> <p>授業科目ごとに、「教育目標」「テキスト」「参考書」「関係する科目」「試験方法」「成績の評価方法」「選択・必修の別」「単位数」「担当教員」「授業内容とスケジュール」について掲載したカリキュラムブックを作成し全学生に公表、配布している。またその中で、卒業までの履修一覧表とともに、科目相互の関連を図示した「カリキュラムフロー」を適宜掲載することで、体系的な学習ができるようにしている。</p>															
成績評価の基準・方法															
<p>（概要）</p> <p>単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。</p> <p>1) 学習の評価による認定</p> <p>評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。</p> <table border="0"> <tr> <td>評点</td> <td>評価</td> <td>判定</td> </tr> <tr> <td>100点～80点</td> <td>優</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>79点～70点</td> <td>良</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>69点～60点</td> <td>可</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>59点～0点</td> <td>不可</td> <td>単位不認定</td> </tr> </table> <p>2) 出席時数による認定の基準</p> <p>出席時数の認定は、規定授業時数の3分に1以下までの欠時とする。</p>	評点	評価	判定	100点～80点	優	単位認定	79点～70点	良	単位認定	69点～60点	可	単位認定	59点～0点	不可	単位不認定
評点	評価	判定													
100点～80点	優	単位認定													
79点～70点	良	単位認定													
69点～60点	可	単位認定													
59点～0点	不可	単位不認定													
卒業・進級の認定基準															
<p>（概要）</p> <p>卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。</p> <p>卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。</p> <p>これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。</p> <p>また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議におい</p>															

て審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。
学修支援等
(概要) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保護者へ連絡し出席を促す、注意喚起を行う等して学業に遅れがでないよう、または原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
28人 (100%)	1人 (3.6%)	23人 (82.1%)	4人 (14.3%)
(主な就職、業界等) 水族館、アクアショップ、ペットショップ、観賞魚卸問屋、養鯉場、養殖会社、水産物卸売会社、釣具店、マリンツアー会社、衛生管理・害虫駆除会社、航空自衛隊、人材派遣会社、電子機器製造会社			
(就職指導内容) インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方			
(主な学修成果（資格・検定等）) 潜水士：5人、ダイビングCカード：15人、観賞魚飼育管理士3級：16人、1級小型船舶操縦士：5人／2級：4人、愛玩動物飼養管理士2級：8人、サービス接遇検定2級：4人／3級：3人			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59人	5人	8.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、一身上の都合、病気		
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業面では、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートを行っている。 学生生活面では学生の個別相談に応じる等して適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物系総合学科研究 科：単位制				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	33 単位時間／単位	12 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	63 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			75 単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	11人	0人	0人	1人	1人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）															
<p>（概要）</p> <p>授業科目ごとに、「教育目標」「テキスト」「参考書」「関係する科目」「試験方法」「成績の評価方法」「選択・必修の別」「単位数」「担当教員」「授業内容とスケジュール」について掲載したカリキュラムブックを作成し全学生に公表、配布している。またその中で、卒業までの履修一覧表とともに、科目相互の関連を図示した「カリキュラムフロー」を適宜掲載することで、体系的な学習ができるようにしている。</p>															
成績評価の基準・方法															
<p>（概要）</p> <p>単位の認定については、次の2つの基準をもって行い、両方の基準を満たした場合に限り認定する。</p> <p>1) 学習の評価による認定</p> <p>評価は、試験・作品提出・課題提出等の成績を学習態度等を参考に総合的に行い、評点は100点満点とし60点以上を合格とする。またこれを公表する場合は、以下の通り行う。</p> <table border="0"> <tr> <td>評点</td> <td>評価</td> <td>判定</td> </tr> <tr> <td>100点～80点</td> <td>優</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>79点～70点</td> <td>良</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>69点～60点</td> <td>可</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>59点～0点</td> <td>不可</td> <td>単位不認定</td> </tr> </table> <p>2) 出席時数による認定の基準</p> <p>出席時数の認定は、規定授業時数の3分に1以下までの欠時とする。</p>	評点	評価	判定	100点～80点	優	単位認定	79点～70点	良	単位認定	69点～60点	可	単位認定	59点～0点	不可	単位不認定
評点	評価	判定													
100点～80点	優	単位認定													
79点～70点	良	単位認定													
69点～60点	可	単位認定													
59点～0点	不可	単位不認定													
卒業・進級の認定基準															
<p>（概要）</p> <p>卒業、または修了の認定基準は、学校の規定する規定単位数の認定を受けたものとする。</p> <p>卒業、修了の規定単位数は、各学科のカリキュラムによる。</p> <p>これらの基準は、本学学則第27条、および教務規定第8条に記載し公表している。また、それぞれの基準を満たしたものは、年度末に行われる卒業進級判定会議において審議され、最終的に学校長が認めた場合に卒業証書を授与する。</p>															
学修支援等															

<p>(概要)</p> <p>チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席が多い場合はチューターより本人・保護者へ連絡し出席を促す、注意喚起を行う等して学業に遅れがでないよう、または原級留置・退学を未然に防ぐよう努めている。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (0.0%)	10人 (90.9%)	1人 (9.1%)
(主な就職、業界等) ペットサロン、ペットショップ、動物病院、動物愛護財団、肥育牛牧場			
(就職指導内容) インターンシップ、求人票の見方、労働法、履歴書の書き方、合同企業説明会の参加マナー、面接対策、内定後の手続きと過ごし方			
(主な学修成果（資格・検定等）) JKC公認トリマーC級：4人、ペット栄養管理士：1人			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	3人	21.4%
(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) チューター制度により各学年にチューターを配置しており、学業面では、学業不振等があれば個別指導・相談を行う等してサポートを行っている。 学生生活面では学生の個別相談に応じる等して適切な助言を与える等して学生生活が円滑に行えるよう努めている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
建築学科 (昼間部)	100,000円	600,000円	220,000円	実験実習費・施設設備費
建築学科 (夜間部)	100,000円	440,000円	110,000円	実験実習費・施設設備費
建築学科 専攻科	100,000円	440,000円	190,000円	実験実習費・施設設備費

動物看護学科 看護医療コース(2年制)	100,000円	490,000円	330,000円	実験実習費・施設設備費
動物看護学科 高度看護医療・臨床検査コース(3年制)	100,000円	490,000円	330,000円	実験実習費・施設設備費
トリミング学科	100,000円	490,000円	330,000円	実験実習費・施設設備費
ドッグトレーニング学科	100,000円	490,000円	330,000円	実験実習費・施設設備費
アクアリウム学科	100,000円	490,000円	380,000円	実験実習費・施設設備費
動物系総合学科 研究科	100,000円	380,000円	100,000円	実験実習費・施設設備費
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校のホームページにて公表している。 (https://www.risen.ac.jp)		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者評価の基本方針 設置学科に関係する業界代表者や有識者、卒業生代表、学術機関、他種の専門学校、高等学校、地域代表者を学校関係者評価委員会のメンバーに委嘱し、学校評価(自己点検評価)の公平性の評価を行い、学校運営・経営の適正化に関する意見を聴取して公正な学校教育に資する。また公教育的視野に立って、聴取した意見を公開する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人 岡山県建築士会	H30. 4. 1～R2. 3. 31	企業等委員
公益社団法人 岡山県獣医師会	H30. 4. 1～R2. 3. 31	企業等委員
公益財団法人 岡山県動物愛護財団	H30. 4. 1～R2. 3. 31	企業等委員
公益社団法人 日本愛玩動物協会	H30. 4. 1～R2. 3. 31	企業等委員
有限会社 マリンシアター	H30. 4. 1～R2. 3. 31	企業等委員
岡山理科大学専門学校 同窓会	H30. 4. 1～R2. 3. 31	卒業生

玉野総合医療専門学校	H30. 4. 1～R2. 3. 31	校長
庄屋電装株式会社	H30. 4. 1～R2. 3. 31	町内会
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校のホームページにて公表している。 https://www.risen.ac.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ①岡山理科大学専門学校ホームページ https://www.risen.ac.jp ②学校案内・募集要項 上記本校のホームページより請求、または電話にて請求することで入手できる。 他に業者から資料請求を行うことでも入手できる。
--